

社会資本総合整備計画  
都市再生整備計画 事後評価シート

宇都宮都市拠点地区

平成26年5月

栃木県宇都宮市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県	市町村名	宇都宮市	地区名	宇都宮都市拠点地区			面積	327
交付期間	平成22年度～平成25年度	事後評価実施時期	平成25年度	交付対象事業費	1710.4	国費率	0.4		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名						
	基幹事業		【道路】市道2号線、市道3号線(ユニオン通り) 【地域生活基盤施設】(地域防災施設)中央生涯学習センター、(情報板)オリオン市民広場 【土地区画整理事業】小幡・清住地区 【住宅市街地総合整備事業】小幡・清住地区						
	提案事業		【地域創造支援事業】中心商業地出店等促進事業、魅力ある商店街等支援事業、都心部居住推進事業、総合情報板設置事業						
	当初計画から削除した事業		事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	新たに追加した事業		基幹事業						

指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
指標1	空き店舗数	店舗	20	平成21年度	5	平成25年度	-	11	△	ありなし ●	魅力ある商店街等支援事業や中心商業地出店等促進事業等により、空き店舗数が減少した。	平成26年4月
指標2	歩行者・自転車通行量	人	46,987	平成21年度	49,300	平成25年度	-	53,605	○	ありなし	魅力ある商店街等支援事業や中心商業地出店等促進事業などにより商店街の魅力が向上したことや、大型映像装置を活用した多種多様なイベント等が開催されることなどによりオリオン通り周辺等の歩行者・自転車通行量は増加した。	-
指標3	居住人口(夜間人口)	人	15,822	平成21年度	17,100	平成25年度	-	16,072	△	ありなし ●	都心居住推進事業、市街地再開発事業等による住宅整備により、居住人口の減少に歯止めがかかりつつある。	平成26年4月
指標4										ありなし		

指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
その他の数値指標1 (当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	オリオン市民広場で開催されたイベントでの集客数	人	141,740	平成21年度			-	172,631			大型映像装置の設置後、オリオン市民広場が利活用され、イベント数の増加や魅力あるイベントの開催により、集客数が増加した。	平成26年4月
その他の数値指標2												
その他の数値指標3												

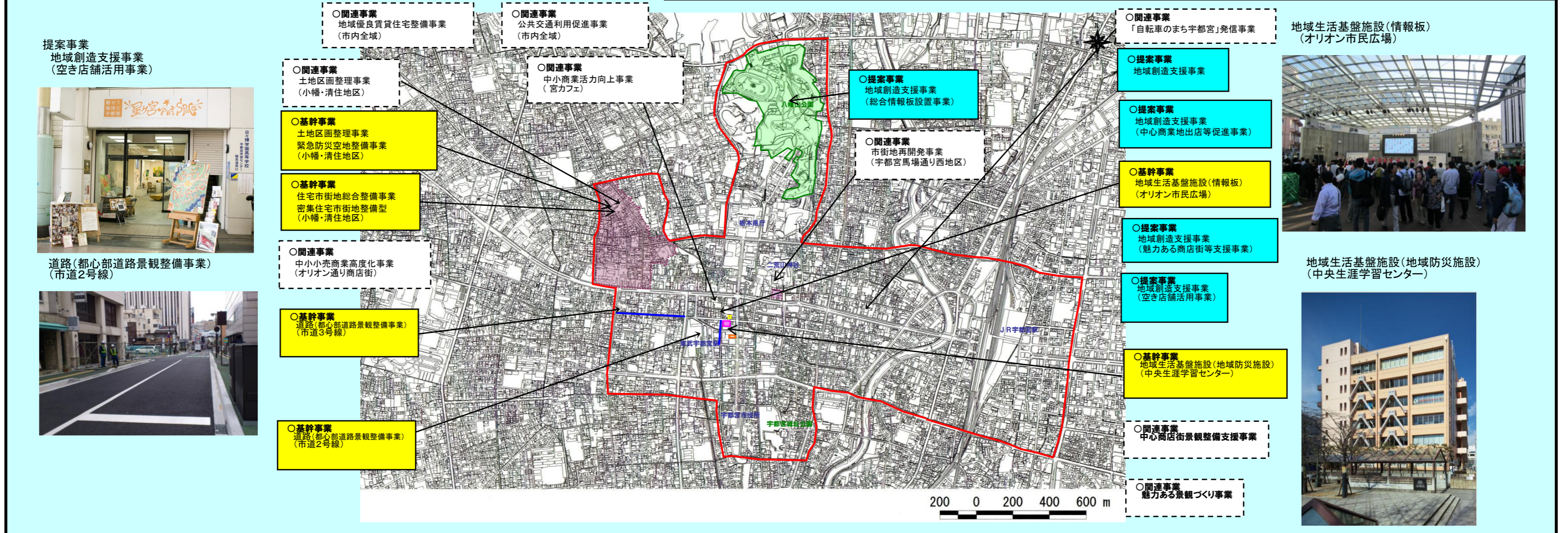
4) 定性的な効果発現状況 意欲のある経営者が出店して、商店街組織の一員となることにより、地元商店街などの活動が活発化し、商店街が一体となった新たな賑わい創出が図られている。

	実施内容	実施状況	今後の対応方針等
5)実施過程の評価	モニタリング	-	-
	住民参加プロセス	・中心市街地活性化協議会 ・みちづくり勉強会(市道3号線:ユニオン通り) ・小幡・清住地区まちづくり協議会	都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった
	持続的なまちづくり体制の構築	・中心市街地活性化協議会 ・大通り景観づくり推進協議会	都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった

## 様式2-2 地区の概要

### 宇都宮都市拠点地区(栃木県宇都宮市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	値	年	値	年	値	年
大目標 宇都宮ならではの「楽しさ」を味わう中心市街地 ～ 市民が愛する・誇れるまちなかへ ～ 目標1 商業地が様々な顔を持つ賑わいのあるまち ～集客～ 目標2 様々な人々が行き交うまち ～回遊～ 目標3 便利で快適な住みたいまち ～居住～	空き店舗	単位:店舗	20	H21	5	H25	11	H25
	歩行者・自転車通行量	単位:人	46,987	H21	49,300	H25	53,605	H25
	居住人口(夜間人口)	単位:人	15,822	H21	17,100	H25	16,072	H25
		単位:		H		H		H



**まちの課題の変化**

- これまで、中心市街地を活性化を図るためオリオン市民広場整備や宇都宮駅自由通路、宇都宮駅東駅前広場の整備など地区全体で様々な事業を取り組んできた。
- 集客力の向上については、中心商業地出店等促進事業や魅力ある商店街等支援事業等により、オリオン通りの空き店舗数が減少するなど、魅力と活力ある中心商店街の形成が図られている。
- 回遊性の向上については、大型映像装置を活用した多種多様なイベントの開催等により、オリオン通り周辺等の歩行者・自転車通行量が増加するなど、賑わい創出が図られているが、面的な賑わい創出が図られていない。
- 街なか居住の推進については、都心部居住推進事業(若年夫婦世帯家賃補助等)や再開発等により、居住人口の減少傾向に歯止めがかかった。
- 昭和41年10月に都市計画決定された小幡・清住土地区画整理事業が平成25年3月に認可され、事業が動き始めた。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

- 今後も、地区全体の活性化に寄与するため地域の賑わいや魅力ある住環境の整備など様々な事業に取り組んでいく。
- 更なる集客力の向上  
魅力ある商店街の形成や、再開発事業等による商業・業務等の高次な都市機能の立地を図る。
- 面的な賑わいの創出  
拠点広場や商店街等における、年間を通した様々なイベント開催や、魅力ある商店街の形成等を図るとともに、バスなど公共交通の充実や自転車の利活用促進など、来街者にとって安全に楽しく回遊できる動線の確保等に取り組む。
- 街なか居住の更なる推進  
現行補助制度を含め、効果的な居住促進策を検討し、再開発等や土地区画整理事業などを通して誰もが安心して快適に暮らせる住環境を創出する。
- 市民意向を取り入れた事業推進  
魅力的なまちづくりを推進するため、まちづくり勉強会や大通り景観づくり推進協議会を通し多様な意向・ニーズを把握し、円滑・効果的に事業を推進する。